

高知県小規模林業推進協議会「会員活動アンケート」結果まとめ

(R3.10.21：事務局 高知県森づくり推進課)

I 調査方法

1. 配布時期 令和3年8月11日
2. 回収時期 令和3年8月16日～9月13日、
3. 回収率 配付数：約460人、回収数：120人（うち退会21人）、回収率26%

II とりまとめ

1. 年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 (1%)	10 (11%)	18 (19%)	14 (15%)	22 (24%)	28 (30%)

2. 移住の有無

移住なし	県外から移住	県内で移住
67 (77%)	18 (21%)	2 (2%)

3. 活動形態

※複数回答有り

自伐林家	一人親方	森林ボランティア	地域おこし協力隊	情報収集のみ	活動なし	その他
48	28	16	7	9	10	12

4. 活動日数

0日	1日以上 60日未満	60日以上 100日未満	100日以上 150日未満	150日以上 200日未満	200日以上
30	23	11	5	10	20

5. 活動内容

※複数回答有り

素材生産	作業道作設	森林環境保全	きのこ類生産	炭生産	その他
46	30	19	10	2	13

6. 素材生産

平均活動日数 (日/年)	平均搬出材積 (m ³ /年)	平均整備面積 (ha/年)
104.5	212.8	3.2

7. 作業道作設

平均活動日数 (日)	平均作設距離 (m)
75.6	783.8

8. 森林環境保全

平均活動日数 (日)	平均活動面積 (ha)
44.4	3.6

9. きのご類生産

平均活動日数（日）	平均生産量（t）
28.0	4.2

10. 炭生産

平均活動日数（日）	平均生産量（t）
40.0	3.0

11. 施業地の見学について

見学してほしい	見学してもよい	見学してほしくない
3	29	28

12. 活動の発表について

ぜひ発表したい	発表してもよい	発表したくない
0	12	44

13. 活動の取材について

取材を受けてもよい	取材は受けたくない
20	37

14. 協議会の必要性について

必要	必要ない	補助事業さえ有ればよい	どちらでもよい
82	0	4	9

※「必要」の意見のうち、26件が情報収集のため、19件が情報交換・交流のため

15. 協議会への参加の有無

参加したことがある	参加したことがない
52	43

※「参加したことがない」の理由は、遠方であるため、忙しいためが多い。

16. 会員が集まる会は必要か

必要	必要でない	どちらでもよい
55	2	33

※リモートでの開催の提案が6件あり。

17. 今後の活動はどうすべきか

- ・SDGsの活動や地域環境保全などに取り組む。
- ・会員同士の親睦を深める活動（交流会等）
- ・現地検討会等、皆でディスカッションする機会を設ける
- ・情報発信（先進事例、材の利用方法、販売先の開拓、生産性に係る技術等）
- ・各市町村担当者への小規模林業の推進研修（森林環境譲与税の活用等）
- ・担い手と施業地のマッチング
- ・ブロック単位（県東部、県中部、県西部等）や市町村単位での集まりを持つ

18. 事業利用の要望

林業機械の レンタル	アドバイザー 派遣	先進地現地 研修	安全装備 導入促進	傷害総合保 険加入促進	蜂刺され 対策
66	55	61	56	58	52

19. 県に支援してほしいこと

- ・ 施業地の斡旋（マッチング）
- ・ 林道の敷設
- ・ 林業機械等（重機、チェーンソー、薪割り機、簡易製材機、簡易乾燥機等）の導入に対する補助
- ・ 山の相続手続きへの支援
- ・ 安全防具補助の充実
- ・ 各市町村担当者への小規模林業の推進研修
- ・ 作業道への補助金の増額
- ・ 特殊伐採に対する補助金の創設（伐採者、高所作業車、レッカー車等）
- ・ 林業機械レンタル期間の延長
- ・ 資格講習の充実
- ・ アドバイザー派遣、先進地視察の予算増額
- ・ 作業道補修補助の拡大
- ・ 間伐量に対して補助金
- ・ ドローン運転資格の無料講習

20. 今後の支援の方向性

※複数回答あり

初心者に 支援	既従事者に 支援	市町村との 連携	森林組合と の連携	これまで どおり	その他
38	39	23	11	11	6

21. 今後の支援の方向の具体例

- ・ 山の集約化を市町村にしてもらいたい
- ・ 各市町村担当者への小規模林業の推進研修
- ・ 市町村に間伐補助等への上乗せをお願いしたい
- ・ 森林組合で施業できない山の斡旋
- ・ 機械購入資金及びリース資金の増
- ・ 補助申請書類の簡素化